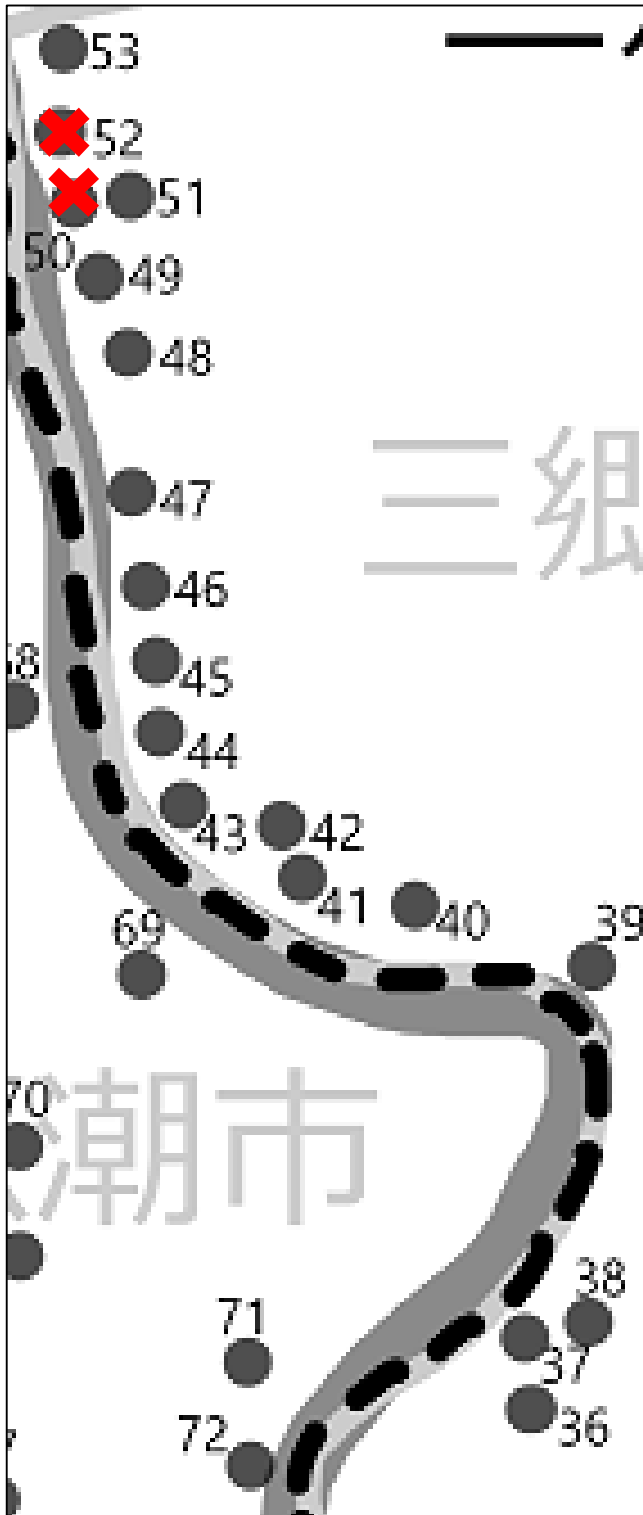


市内の札所を巡ろう



市内には36番から53番の合計18か所の^{ふだしょ}札所があります。このうち、お寺として現在も^{そんぞく}存続している、または^{だいしどう}大師堂や^{せきちゆう}石柱が確認できる札所は16か所（戸ヶ崎地区の3か所と、彦成地区の13か所）です。残りの2か所は廃寺となっています。

彦成地区一帯は中川の^{しぜん}自然^{ていぼう}堤防という^{びこうち}微高地にあり、早くより人々が住んでいた地域で、お寺も多くあります。

札所の目印である石柱には文字が刻まれており、その場所が札所であることを示しています。また、道^{みち}しるべとしての役目もありました。^{ふうか}風化して読み辛いものが多いですが、当時の人々の気持ちになってじっくり観察してみてくださいはいかがでしょうか。

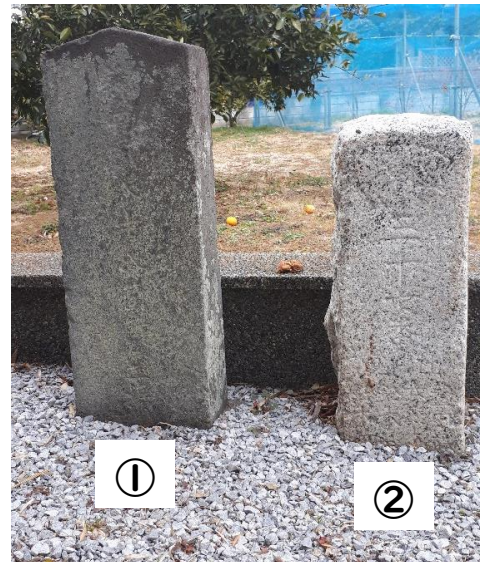
足をのばして葛飾区など市外の札所も一緒にめぐってみるとより多くの文化財をめぐることができます。

36番: ^{かんのんじ}観音寺 (戸ヶ崎2151)



^{せきちゆう} ^{けいだい} 石柱は境内向かって右手に1基あります。
^{ぞうりゆうねんだい} 造立年代は不明です。

37番: ^{じょうらくじ}常楽寺 (戸ヶ崎2201)



石柱は門の前に2基あります。

①明治38年(1905年)

②年代不明

38番:^{さいふくじ}西福寺(戸ヶ崎2-62-1)



大師堂

^{だいしどう}大師堂は本堂向かって右手にあり、
大師堂前に弘法大師像があります。
^{せきちゆう}石柱はお寺の入り口につながる道路沿い
に1基あり、年代不明です。



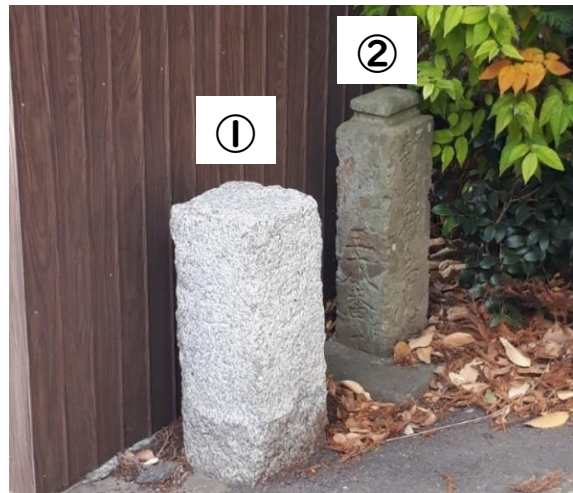
奥に本堂があります↑

石柱

39番:^{しんぷくじ}真福寺(谷口28)



大師堂



お寺としては現存していませんが、大師堂と墓地が残っています。
大師堂は谷口公民館向かって左にあります。
石柱は敷地前の道路沿いに2基あります。

①年代不明

②^{てんぽう}天保14年(1843年)

さいぜんいん
40番:西善院(花和田189)



大師堂



市指定文化財の木造阿弥陀如来立像(彫刻)があり、7月には厄神祭やくじんさいが行われます。

だいしどう
大師堂は本堂向かって右手にあります。

せきちゆう けいだい き
石柱は境内に1基あり、年代不明です。

みつじょういん
41番:密乗院(彦江1-207)



大師堂は本堂向かって左手にあります。

石柱は境内に2基きあります。

①年代不明

②天保13年てんぽう(1842年)

42番: 釈尊寺 (彦江1-174) ※現在は密乗院の墓地



せきちゆう けいだい き
石柱は境内に2基あります。

①年代不明

②天保13年（1842年）

43番: 円能寺 (彦沢1-71-1)



もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう
市指定文化財の木造不動明王立像（彫刻）があります。

こうぼうだいしぞう
本堂前に弘法大師像があります。

けいだい き
石柱は境内向かって右手に、木に隠れるようにして1基あります。

てんぼう せきちゆう
天保13年（1842年）の石柱です。

44番: ^{こうしょういん}迎攝院 (番匠免1-127-1)



迎攝院では、7月に^{だいはんによきょうまつ}大般若経祭り
(市指定文化財(無形民俗)、埼玉県
選択文化財(無形民俗))が行われます。

大師堂

観音堂は市指定文化財(建造物)です。

^{けいだい}境内向かって右手に^{だいしどう}大師堂と、年代不明の^{せきちゆう}石柱が^き1基あります。

45番: ^{ぜんしょうじ}善照寺 (上口1-37)



大師堂



大師堂は本堂向かって左手にあります。

^{けいだい}境内に石柱は確認できませんが、道路沿いに年代不明の^き石柱が1基
あります。

えんめいいん
46番:延命院(彦倉1-83-1)



大師堂



①



②



③

もくぞうこくぞうぼさつりゅうぞう こくぞうどう
市指定文化財の木造虚空蔵菩薩立像(有形民俗)、虚空蔵堂(建造物)
があります。

だいしどう
大師堂は本堂向かって左手にあります。

せきちゆう き
石柱は門の前に3基あります。

①年代不明

②年代不明(上部破損のため)

③年代不明

みつぞういん
47番:密蔵院(彦野1-25)



大師堂

大師堂は本堂向かって左手にあります。

ぎよくぞういん
48番:玉蔵院(天神1-59)



大師堂

もくぞう あ み だ によらいりゅうぞう
市指定文化財の木造阿弥陀如来立像(彫刻)、木造地蔵菩薩立像(彫刻)があります。

だいしどう
大師堂は本堂向かって左手にあります。

じぞういん
49番:地蔵院(上彦名278)



大師堂



お寺としては現存していませんが、
大師堂と墓地が残っています。

敷地内に大師堂と石柱が1基あります。

年代部分が風化のため剥がれ落ちていますが、「明治」
という文字から明治時代の造立と推測できます。

^{ふどういん}
50番:不動院(彦成)

※廃寺(円明院に合併)、現在地不明

現在の彦成公民館にあったと推定されています。

^{えんみょういん}
51番:円明院(彦成1-179-1)



大師堂

市指定文化財の^{もくぞうふどうみょうおう}木造不動明王^{りゅうぞう}立像(彫刻)、^{かわべさんかじあてい}河辺三ヶ寺宛伊^{なただつぐかいはつてがた}奈忠次開発手形(古文書)があります。

^{だいしどう}大師堂は本堂向かって左手にあります。

^{せきちゅう}石柱は境内向かって右手に2^き基あります。

①^{てんぼう}天保13年(1842年)

②天保13年(1842年)

②は50番札所の不動院の石柱です。

不動院が^{はいじ}廃寺になり、円明院に合併されたことで、石柱が^{いせつ}移設されたことがうかがえます。



52番: ^{しんぞうじ}真蔵寺 (彦系)

※廃寺 (安養院に合併)、現在地不明

現在の彦音公民館にあったと推定されています。

53番: ^{あんよういん}安養院 (彦系1-10)



大師堂



①



②

^{けいだい}境内には市指定文化財 (記念物) の大銀杏があります。

^{だいしどう}大師堂は本堂向かって右手にあります。

^{せきちゆう}石柱は門前と道路沿いに2基あります。

① ^{てんぼう}天保12年 (1841年)

② 年代不明